

2号機原子炉建屋内作業における顔面汚染について

2020年 2月12日

東京電力ホールディングス株式会社

2号機原子炉建屋内作業における顔面汚染について

□発生日

2020年2月6日（木）

□作業場所

1F-2号機 R/B 大物搬入口2FL

□作業件名

1F-2号機 R/B大物搬入口2階片付業務委託

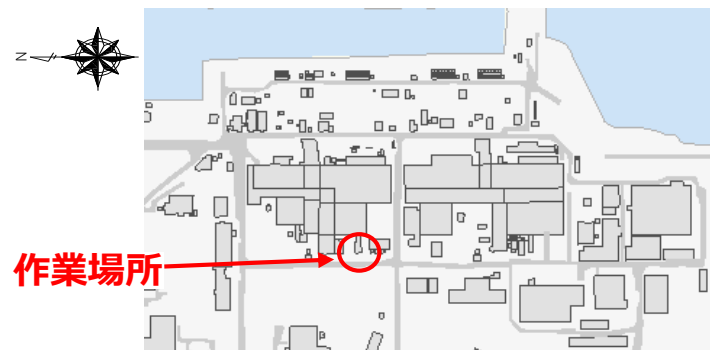
□事象の概要

2号機R/B大物搬入口2階において仮置品の片付作業を行っていた協力企業作業員が、免震重要棟にて作業後の汚染検査を行ったところ、鼻および口廻りに放射性物質の付着を確認した。

鼻スミヤ結果：約900cpm

□時系列

- ・ 8:10頃 TBM-KY
- ・ 10:00頃 午前中の作業開始（別エリアでの作業）
- ・ 12:00頃 2号機R/Bへ到着
- ・ 12:10頃 作業開始
- ・ 13:10頃 作業終了
- ・ 13:35頃 装備脱衣
- ・ 13:45頃 退域モニターで顔面汚染を確認
- ・ 14:00頃 免震棟にて除染を開始
- ・ 15:12頃 放射性物質の内部取込みの恐れがあると判断
- ・ 16:03頃 除染完了し入退域管理棟から退域
- ・ 16:45頃 WBC入室測定開始
- ・ 16:50頃 WBC退出
- ・ 17:05頃 入退域管理棟にて医師による問診



□被災者

二次下請け：男性，60代
1F作業経験：震災後 約7年

□装備 Rゾーン/R装備

全面マスク，Rヘルメット、綿帽子、タイベック、アノラック（上下）、綿手袋、ゴム手袋（3重）、靴下（3重）+ナイロン袋、R長靴

□推定要因（現在調査中）

聞き取り調査や、汚染が確認された顔面の部位、マスクの内側の状況から、マスクを脱ぐ際にマスクの外側に付着していた汚染物質が下唇に付着、その後鼻腔まで汚染が伝搬したものと推定される。

□内部取込み被ばく線量（推定値）の評価について

γ核種：0.09mSv
(WBC (NaI)により評価)

β核種：1.09mSv
(WBC (NaI) の評価より鼻スミヤのβ/γ比を用い評価)

内部被ばく線量：1.18mSv
上記より、**記録レベル (2mSv) 未満と評価**